

# 予算審査委員会委員長報告

2024年3月22日

予算審査特別委員会

委員長 奴間 健司

予算審査特別委員会に付託を受けておりました、第13号議案令和6年度古賀市一般会計予算についてから第18号議案令和6年度古賀市下水道事業会計予算についてまでの6議案について、3月6日、7日、11日、12日、19日に委員会を開催し審査しましたので審査の経過と結果の報告をいたします。

審査に際し、副市長、教育長をはじめ関係部課長等の出席を求め、各予算案の詳細説明を受けるとともに、各委員からの資料要求に基づく資料を参考に審査をいたしました。

まず、各会計予算に対する審査の概要を報告します。

第13号議案令和6年度古賀市一般会計予算に対し延べ60名が約130件について質疑しました。主な意見として、2款審査において、恒久平和希求事業費については、若い人の参加が促進されるよう実施すること、公共交通維持・確保事業費については、利用者増や収支率向上を図ること、インキュベーション促進事業費については、これまでに投じた公費の総額が約3億8千万円になっているが、費用対効果の面でより成果が出るよう取り組むこと、商工業活性化推進事業費の中のふるさと応援寄附については、地場産業の育成という本来の目的に沿って取り組むこと、3款審査において、幼児教育・保育提供事業費では、保育士の確保に力を入れ待機児童ゼロを堅持すること、7款審査において、観光客誘致促進事業費における観光・物産・情報発信委託費については、新たな観光事業に結び付け成果を上げること、8款審査において、千鳥駅東口周辺整備事業費については、通勤・通学の歩行者等の安全が確保されるよう実施すること、道路改良事業費における西鉄跡地概略設計委託については、住民の意見をしっかり反映させること、9款審査において、防災力強化事業費における市総合防災マップ改訂委託については、総合防災マップのさらなる充実を図ること、10款審査において、学力・体力向上推進事業費における部活動外部指導員謝礼については、待遇改善を図ること、学校運営事業費における心臓検診委託については、生活習慣病予防対策を積極的に講じること、給食センター管理運営事業費については、子どもの安全、地産地消を重視して実施すること、歳入では自主財源の確保・増収を積極的に図ること等がありました。

第14号議案令和6年度古賀市国民健康保険特別会計予算に対しては、4名が7件について質疑しました。主な意見として、マイナンバーカード保険証については、市民に不利益にならぬよう対応すること、特定健康診査委託や若年者等健康診査委託については、受診率向上に力を入れること等がありました。

第16号議案令和6年度古賀市介護保険特別会計予算については、3名が6件について質疑しました。主な意見として、認知症総合支援事業費において認知症カフェ、ユマニチュード研修会等を積極的に実施すること等がありました。

第17号議案令和6年度古賀市水道事業会計予算に対しては、4名が5件について質疑しました。主な意見として、浄水場事業費における医王寺配水池耐震診断点検業務委託費や配水管新設改良事業費については、安全・安心な飲料水供給と災害時対応のためにしっかり実施すること等がありました。

第18号議案令和6年度古賀市下水道事業会計予算に対しては、2名が2件について質疑しまし

た。

なお、各会計予算に対して質疑を通じて出された意見等は今後振り返りができるよう整理し記録を作成しています。(※一般会計 55 件、歳入 5 件、国保会計 3 件、介護保険会計 3 件、水道会計 3 件、総計 69 件の意見を整理しています)

次に、各会計予算に対する討論、採決の結果を報告します。

第 13 号議案令和 6 年度古賀市一般会計予算については、反対討論、賛成討論それぞれ 3 名が討論を行いました。反対討論として、西鉄宮地岳線跡地整備について、市民に対する説明が不十分であること、インキュベーション促進事業や古賀駅西口再開発、公共交通、災害対策、マイナンバーカード等について問題があるため反対。賛成討論として、子ども医療費無償化の 18 歳までの拡大、子ども食堂支援事業補助金、小中学校の原則 35 人以下学級、新生児聴覚検査支援、木造住宅耐震審査補助金等は評価できるため賛成。水泳授業民間委託や学校給食食器変更については、執行上の留意点を指摘する意見もありました。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第 16 号議案令和 6 年度古賀市介護保険特別会計予算については、反対討論、賛成討論それぞれ 1 名が討論を行いました。反対討論として、介護保険料の値上げによる負担は問題であるため反対。賛成討論として、成年後見制度の実施は高齢化社会に必要な制度として評価できるため賛成。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第 17 号議案令和 6 年度古賀市水道事業会計予算については、1 名が賛成討論を行いました。浄水場廃止を前提に関係団体との協議が予定されているが、災害時にも命の水が供給されるよう市民に丁寧に理解を求めて進めることを期待して賛成という意見でした。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

第 14 号議案令和 6 年度古賀市国民健康保険特別会計予算、第 15 号議案令和 6 年度古賀市後期高齢者医療特別会計予算、第 18 号議案令和 6 年度古賀市下水道事業会計予算については討論はなく、採決の結果、賛成全員で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

令和 6 年度古賀市一般会計予算案は過去最大規模の 267 億 5,888 万 9 千円であり、各特別会計、公営企業会計の合計は 441 億 5,153 万 1 千円となっています。当委員会は、全会計予算案をすべて原案のとおり可決すべきものと決定しましたが、市執行部に対しその執行にあたっては、審査において出された意見等を真摯に受け止め、住民福祉の向上、地域経済の発展とともに健全財政を堅持し持続可能なまちづくりを着実に推進されることを望みます。

以上で、予算審査特別委員会の審査結果報告を終わります。